

事業箇所総合評価シート

【担当課:道路建設課】

事業名	社会資本総合整備交付金事業(道路改良)	路線名等	一般県道 明日香清水谷線
箇所名	高市郡高取町清水谷		
事業の概要	目的	明日香清水谷線は、日本三大山城である高取城跡から国指定重要文化財がある壺阪寺を經由し国道169号をつなぐ道路であり、一部区間は路線バスの運行経路となっているが、一部区間が狭隘で車両の離合が困難な状況である。 そのため、当該箇所の整備により、ボトルネック区間を解消し、観光地へのアクセス強化を図る。	
	事業内容	計画延長 : L=0.1km 計画諸元 : 第3種4級 設計速度40km/h 車線数 2車線 事業内容 : 現道拡幅	
着手年度	平成30年度	完成年度	平成34年度
全体事業費	200百万円		

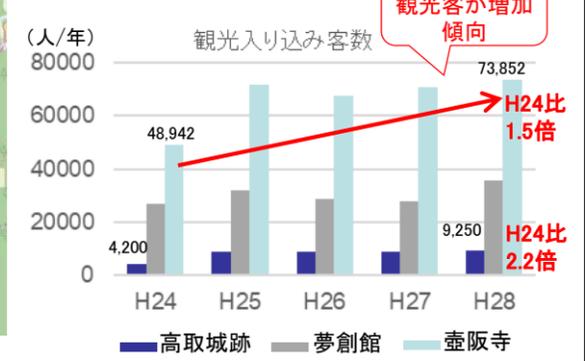
事業の必要性	【必要性】 ①国道169号から壺阪寺の間は、概ね2車線で整備されているが、当該区間のみが離合が困難なボトルネックとなっている ②壺阪寺の観光客は増加傾向で平成24年度と比較すると約1.5倍に増えている。また、高取城跡への来訪者も増加しており、観光ルートとしてのアクセス強化が必要 ③壺阪山駅から壺阪寺に至る路線バスが当該区間を運行しており、バス路線の円滑性の確保が必要(11往復/日) ④キトラ古墳を經由する広域農道が平成24年度に当該区間付近に接続されたため、飛鳥地域との周遊観光ルートになっている ⑤平成27年7月に県と高取町でまちづくりに関する包括協定を締結し、H29年3月に「高取町土佐街道周辺および高取城跡周辺地区」における基本協定を締結しており、高取城と土佐街道の風景を一体的に保存・整備・活用し、多くの観光客が訪れるまちづくりを進めるとしている。
上位計画等	
事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	①壺阪寺や高取城跡などの観光地へのアクセス強化 ②バス路線の円滑性の確保 ③周辺観光拠点との周遊観光ルートの強化 ④まちづくりを支える道路ネットワークの形成
コスト縮減への取組み	
地元情勢等	○高取町が地権者に事業協力を行っており、全員同意済み(地権者数4名、9筆)
他計画他事業との関連	

評価結果	左の理由
採択	高取城跡と土佐街道など観光振興に資する事業であることから事業実施は妥当である

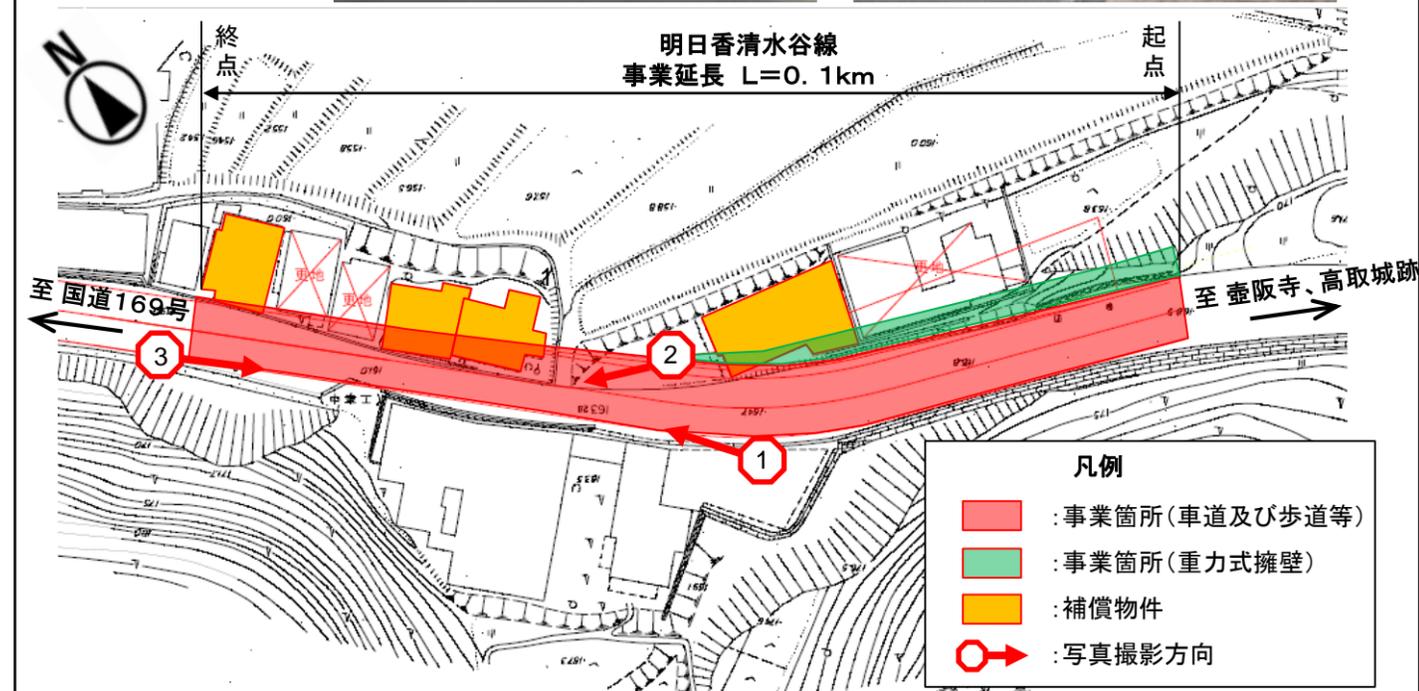
【位置図】



【高取町の観光客】



【計画平面図】



【標準横断面図】

